

令和4年度

もろやま 毛呂山町立毛呂山中学校

福祉体験



第3学年

特色

- 中学3年生を対象に、地域の障害を持つ方々や社会福祉協議会の方々を招き、車椅子体験と視覚障害者とのガイドヘルプ体験を行った。車椅子体験では、車椅子に実際に乗り、段差やスロープを通り、補助の仕方や使い方を学んだ。また、ガイドヘルプ体験では、視覚障害者の気持ちを知り、実際にガイドする際のポイント等を学習した。

生徒の感想

- 初めて車椅子に座ったり、押したりした。段差のあるところを押したが、改めて、スロープの重要性を知った。福祉の講義でも、全然知らないことがたくさんあった。今回の体験を通して、もし困っている人がいたら、助け合いの心をもって、生活していこうと思った。

成果

- 福祉体験を通して、生徒が勝手に思い込んでいた「かわいそう」や「大変そう」という先入観が間違っていることに自ら気づくことができた。それだけではなく、生徒たちは、福祉体験での交流を通して、「自分だからこそ、できる手助けをしたい。」と考える機会を持つことができた。